

「自律」「共生」～「Chance」「Change」「Challenge」の進化（深化）と完成 ～

南部中学校だより

2025.1.21 第10号 文責:角

新年を迎えて ～昭和は遠くなりにはけり～

南部中学校長 影本 純

比較的穏やかだった年末年始も過ぎ、3学期がスタートしました。今年は「巳（へび）年」です。へびには不気味さや苦手意識を感じる人もいますが、金運や繁栄をもたらす縁起物として広く認識されています。また巳（へび）には、「新しく産まれてくる」、「将来・未来がある」といった意味もあります。これは、へびが定期的に脱皮を繰り返すことに由来し、生命力や再生、変化と進化の象徴とされているからだそうです。さて、今年はみなさんにとってどんな年になるのでしょうか、楽しみです。

さて、今年は大阪・関西万博が開催されますが、かつて1970年にも大阪万博が開催されました。私も子どものころにこの大阪万博に行きました。いろいろなパビリオンがありましたが、中でも岡本太郎氏がデザインした「太陽の塔」が強烈に印象に残りました。この頃の日本は高度成長時代で、新幹線の開通、自動車や電化製品の普及と、経済成長が右肩上がりでした。カラーテレビが各家庭に普及してテレビがお茶の間の中心にあり、マスコミの発展とともに情報化社会に突入しました。音楽においてはアイドル全盛時代とともに、ニューミュージック、テクノポップ、シティ・ポップが流行し、日本の音楽シーンの土台となっていくます。電化製品や自動車が世界で評価されて輸出大国となり、日本中が一時的に豊かになっていきます。

私が中学生のころは、まさにこんな時代で、日本はいろんな分野でこれからも発展し続けて行くものだと思っていました。しかし、その後訪れるバブル経済崩壊と、世界金融危機などの影響で日本経済は停滞し、他の国にGDPで追い抜かれていきます。そして、失われた30年と言われ、今も各分野で世界的に苦戦しています。そして、人口減少と少子高齢化が進む中で、物価高騰が生活を苦しめています。どうしてこんな社会になってしまったんだろうとつい思ってしまいます。とは言え、ネガティブになってばかりでは何も解決しないので、私たちはこれからのことを考えていかなければなりません。これから人口が減少していくことを受け入れ、どうすれば生活水準を維持し、豊かな生活ができるのか、老若男女を問わずみんなが考えていかなければなりません。

「振り向くな、振り向くな、後ろには夢がない」と、劇作家の寺山修司氏が言葉を残しています。過去を反省することは大切ですが、過去を振り返っても希望が見えてこないなら、過去にとらわれず、未来を夢見ていくことが必要なのだと思います。

今年「昭和100年」にあたるそうです。私たちがワクワクした昭和の時代はもう遠い昔のことで、時代はもう令和になり、これからも前に前に進むのです。へびの歩みのようにゆっくりでもいいので、「変化と進化」につながる年になってほしいと思います。

インフルエンザが全国的に流行しています。皆さんくれぐれも健康にはご留意ください。今年も昨年と変わらずご支援ご協力をお願いいたします。

本校舎トイレ洋式化工事完了

昨年11月から年末までの工期を終え、標記の工事が完了しました。これで校舎のトイレは全て「洋式」になりました。

これまで生徒からも「和式便座だと使いにくい」と言った声も聞かれていましたが「洋式化」により、より快適にトイレを利用することができるようになりました。トイレが安心して快適に利用できることは生徒の精神面の安定にも直結しています。



部活動の地域移行について説明をします。

1月21日の放課後に1・2年生の生徒を対象に今後の部活動の運営について校長先生から説明がありました。南部町では令和8年度（*現在の1年生が3年生になる年度）から、これまで学校が担ってきた部活動の運営がスポ netなんぶや町内の団体へと移行します。

1月31日（金）午後7時より「南部町立中学校部活動地域移行に係る説明会」が天萬庁舎で行われます。部活動の地域移行について詳しく知りたい方はこちらの説明会にご参加ください。

裏面に学習指導要領改訂に係る意見募集のリーフレットを載せています。

学校での学習の目標や内容は文部科学省が定める「学習指導要領」で定められています。この要領は10年に1度改訂されますが、まさに今、この改訂作業がすすめられています。

同省はこの改訂作業に小中高生の意見を取り入れたいと考えています。学習指導要領の改訂に興味関心がある生徒は裏面のリーフレットをよく読み、こども家庭庁の「こども★いけんぷらす」へメンバー登録をして皆さんの意見を届けてみましょう。

法務局から人権作文の表彰を受けました。



校長室での表彰の様子

2学期末に発行した「てまやま」でもお知らせしましたが、全国人権作文コンテストで2年生の井塚さんが「県奨励賞（作品名：「好き」のらしさ）」を、同じく2年の田村さんが「西部地区米子人権擁護記録会会長賞（作品名：気づける環境）」を受賞しました。

1月20日に法務局から担当者が来校され、井塚さん、田村さんへの表彰伝達が行われました。

表彰を受けた二人は2月1日（土）13時から天萬庁舎で開催される「町人権集会」で上記作文を発表します。時間の都合のつく方は是非、同集会に足を運んでみてください。